

No. 3

発行 者

富山県入善町議会

TEL 0765-72-1100

発行 入善町議会議長 長島啓太郎
 編集 入善町議会だより編集委員会
 印刷 池原印刷所

入善町 議会だより



委員会風景

就任 あいさつ



**錦秋の候町民の皆さま方には益々御健
 本勝のこと、お慶び申し上げます。
 啓 この度第八回入善町議会定例会に於き
 島 まして議長に選出をうけ就任いたしましたし
 長 た。**

もとより微力でございますが御推挙を
 うけましたからには町政の推進と円滑な議会運営のため懸命の努力を
 傾注し、議会代表としての職責を全うする所存でございます。

わが入善町は、積極的な諸施策の推進により、町勢の発展はまことに
 めざましいものがありますが、未だその途上にあるだけに当面する
 町政には重要課題が山積しており、議決機関の使命はいよいよ重大で
 あることを痛感いたしております。

これ等の諸問題にとりくみ三万町民の総意を充分尊重の上議会活動
 に挺身し、これが解決に当りましては、新しい自覚と決意をもって誠
 心誠意町政伸展のため全力を捧げる覚悟でございますから、どうか今
 後共皆様方の御指導、御鞭撻を賜りますことをお願いいたしますと
 ともに皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げまして私の挨拶とい
 いたします。



**昭和四十九年十月第九回入善町議会臨
 義 時に於きまして、このたび町議会役員
 選挙により、副議長の重職を汚されて戴
 くことになりました。**

の職責の重大さを痛感するものでございます。

幸いにして長島議長は人格識見ともに卓越された方であり、その補
 佐役として議会の円滑な運営に微力を傾注してまいりたいと存じます。

入善町も将来に向けてより一層大きく伸展しようとする時期でもあ
 り、町政向上のため、亦町民福祉のためにも至らぬながら全力を尽く
 し、われわれ議会人として一層研鑽を重ね町民の皆さんの御期待に万
 分の一なりともおこたえ致すべく専心努力をいたす覚悟でございます。
 今後とも入善町発展に町民の皆さまの深い御理解と御協力をお願い
 いたしまして簡単でございますが就任の挨拶といたします。

九月定例議会

定例議会のあらまし

定例議会の経過と会議の内容は次のとおりであります。

第一日 九月二十四日(火)

午後一時十分から本会議を開会し輪田議長より副議長宛に辞職願いが提出されており尚藤田副議長は病氣療養により入院加療随

第二日 九月二十七日(金)

午後一時十七分本会議を開き第一日目に上程された議案第六十九号ないし議案第七十九号昭和四十九年度入善町一般会計補正予算(第二号)ほか十一件の質疑討論の後採決の結果可決されました。次に議案第八十一号字の区域の変更調書の一部訂正について(入善地区)が上程され町長の提案理由の説明質疑討論の後可決されました。

九月定例議会(自九月二十四日)に上程審議された議案

至九月二十七日

島正一議員、副委員長には柏原三郎議員が当選されました。次に同意案第三号教育委員会委員の任命についてが上程され原案通り寺崎清作氏を教育委員会委員とすることに同意されました。次に請願六件陳情二件が上程され、専門的な審査をするため、これを常任委員会に付託し閉会中の継続審査とすることに決しました。次に議員提出議案第三号妊娠出産育児に不安のない「母性保障法の立法化」に関する意見書が上程されこれを万場一致で可決、関係機関へ働きかけることになり、午

決算特別委員会委員

- ◎野島 正一
- ◎柏原 三郎
- 前田 勇作
- 上田 義信
- 真岩 幸作
- 岡島松次郎
- (◎委員長◎副委員長)

議会日誌

- ▼7月
 - 自18日北海道行政視察
 - 至26日(上川町池田町壯監町)
 - 29日富山県民主政治推進連盟総会(富山県庁)
 - 30日新川広域圏議会(魚津市役所)
- ▼8月
 - 6日町村議会事務局長研修会(庄川町)
 - 27日北陸自動車道建設推進協議会総会(富山県民会館)
- ▼9月
 - 3日愛知県長久手町議会議員一行視察来町
 - 4日富山県町村議長会臨時総会(富山市九ノ内会館)
 - 7日岩手県胆沢町議会議員一行視察来町
 - 9日新川広域圏臨時議会(魚津市役所)
 - 12日議会運営委員会
 - 17日山口県吉敷郡小郡町議会議員一行視察来町
 - 20日議員全員協議会
 - 自24日
 - 開設工事第一工区
 - 自27日 第八回入善町議会定例会

員が当選されました。次に会議録署名議員に十三番米島一信議員十四番三賀しさい議員を指名、会期は九月二十四日から二十七日までの四日間と決定致しました。

次いで報告案件二件承認案件一件が上程され何れも提案通り承認されました。次に議案第六十九号から議案第八十号までの十二件を一括して議題となし上程案件

・議案第六十九号昭和四十九年度入善町一般会計補正予算(第二号)
 減額一〇四、三三二、一〇〇千円
 現計予算額二、三二五、一〇〇千円とした

・議案第七十号昭和四十九年度入善町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)
 追加一四、六七九千円
 現計予算額四八八、二八五千円とした

・議案第七十一号昭和四十九年度簡易水道特別会計補正予算(第一号)

・議案第七十二号昭和四十九年度入善町土地取得特別会計補正予算(第一号)
 追加七一、一九六千円
 現計予算額八四、七二二千円とした

・議案第七十三号工事請負契約について(林道オコ谷、下り谷線開設工事第一工区)
 契約金額 金一〇八〇円

契約の相手方 内 島組

議案第七十四号備品購入契約について(学校視聴覚装置及び語学練習装置、西中学校)

契約金額 契約の相手方 金二〇八〇百 富山ナショナル

議案第七十五号入善町印鑑条例一部改正について

議案第七十六号入善町老人医療費の助成に関する条例の一部改正について

議案第七十七号入善町重度心身障害者医療費の助成に関する条例の制定について

議案第七十八号都市公園を設置



藤田秋義議員

(副議長)逝去

藤田議員はかねてより病氣療養中のところ、家族の看護ならびに墓石の知なく去る十月五日午前五時五十分魚津市労災病院に於て逝去されました。享年五十二歳。氏は責任温順にして情誼に厚く

すべき区域について

名称 設置区域 入善東公園 入善町入膳小摺戸集落公園 小摺戸下山集落公園 下山

議案第七十九号字の区域の変更について(小摺戸土地改良区福島工区)

議案第八十号新規土地改良事業計画について

事業名・入善地区広域関連農道整備事業

事業を施行する地区 入善町上野入善町浦山新

議案第八十一号字の区域の変更調書の一部訂正について(入膳

為に各種団体役員要職につかれ向昭和四十年十月業望を担って町議会議員に当選され爾來総務委員

副委員長、文教厚生委員副委員長、総務委員副委員長、決算特別委員副委員長、公害対策特別委員副委員長を歴任、昨年十月の改選時の初組織議事に於て副議長に就任され九年度に於て誠実さと清潔な気性と旺盛な責任感をもって地方自治のため尽くされました。

常に卓越した識見と情熱を傾けて入善町伸展のため貢献された功績は大なるものがございませう。ここに謹んで生前の業績をたたえご冥福をお祈り申し上げます。

地区

議案第八十二号昭和四十八年度入善町歳入歳出決算認定について

昭和四十八年度入善町一般会計歳入歳出決算

外五特別会計決算

その他の案件

議長の辞職許可について

議長選挙について

長島啓太郎氏当選

報告第六号附採納について

件数 一〇件

現金換算 五七万円

報告第七号専決事項報告について(専決処分第一〇号富山県町村公平委員会共同設置規約の変更)

承認第七号専決事項承認について(専決処分第一〇号地方債の変更)

同意案第二号教育委員会委員の任命について

妊娠、出産、育児に不安のない「母性保障法の立法化」に関する意見書

わが国における妊産婦の死亡率は欧米の二倍から五倍に上っており、しかもその死亡原因は妊娠中毒症、出血、子宮外妊娠などが約七〇%を占めています。これらはいずれも早期に発見すれば治すことができ、一命をとりとめることもできると言われています。

また生後一週間の新生児の死亡も総て妊娠中の母親の健康管理に起因するもので、いかにわが国の母子保健対策が貧困であるかを物語っています。一方勤労婦人は既に一、二、三〇万を超え、しかもその半数は既婚婦人で、家庭においては妊娠、出産、育児等の重要な任



母親教室風景

▼10月

1日岡山県赤松郡山陽町議会議員一行視察来町

8日議員総会

11日新川広域圏議会(一市三町)首長議会議員ソフトボール大会(黒部市桜井中学校)

12日千葉県山武郡大網白里町議会議員一行視察来町

14日決算特別委員会

17日新潟県刈羽郡小国町議会議員一行視察来町

19日文教厚生委員会

21日産業建設委員会

22日決算特別委員会

自24日新川広域圏議会議員行政視察至25日察

28日議員全員協議会

第九回入善町議会臨時会

務を果たすために苦勞をしております。このような現状を改善するため、私達は現行の労働基準法、母子保健法、勤労婦人福祉法などを改正し、出産費の無料化などが責任をもって母性の福祉を保障するよう、このために「母性保障法」の立法化を固らるるよう特段の配慮を強く要請する。

以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により、意見書を提出する。

昭和四十九年九月二十七日 入善町議会

委託農業の 促進を図れ



真 岩 議 員

農業改善事業の中で、中核農家の育成と圃場整備の順次完了と相まって、その成果を期待されるが、最近「農家が来えて農業が減じる」と云う言葉をきく、高効率集団の生産組織の育成化にどのような施策を講じているか、又、委託農業つまり請負耕作の施策について町長の所信を聞きたい。

町長 圃場整備の促進、第二、近代化施設の導入、第三、農業の制度資金の導入、第四、委託農業、請負耕作、中核農家の育成に、町としては農協との連携をとりながら請負農業制度化に精進していきたい。



大型化された農地

給食運営費の 燃料費を町負担にせよ



柏 原 議 員

物価高騰に伴ない給食運営費の父兄負担増がよきなくされ生活費の影響は大きい。町財政も苦しいがせめて燃料費だけでも町費負担にする考えはないか。次に無公害畜産の叫ばれる今日、町は試験的な添加物飼料飼育に踏み切った経過や実施状況、今後の見通しについて、又高校の畜舎に発生する悪臭がひどいが指導しないのか。次に事務機構改善に伴い職員の職務態度にゆるみが見られるが指導管理を強められたい。

町政一般質問



岩 場 議 員

公聴活動を 行政に反映せよ

先ず情報の提供が町政の福祉に充分対応していると思われるか。

次に、公聴活動がどのように行なわれ、その結果行政面にかかされているか。今後の公聴会活動をどのように進めるか。次に警察官舎の老朽化ははなはだしい。その改善策を考えているか。次に市街地の流雪清計画の概要と今後の見通しについて聞きたい。

町長 広報は情報を提供する要素はないので知らせるのが目的。広報活動を今後とも続けたい。次に公聴活動、行政相談等年二三回行って地区ごとの問題をと

りあげたい。

次に警察官舎についてはご指適のとおりであり何回も県警本部とも話を続けており総需要抑制の中であるが充分考えたとの県の確言をきいておる。次に流雪清については県道は県がやり、幸い町は事業が進んでおり五十年年度以降も積極的にこの問題にとり組んでいきたい。

再質問 警察官舎、流雪清については了解したが広報活動の中で町の物価等の状況を目抜き通り、三回行って地区ごとの問題をと

町長 燃料費町負担については年間四〇〇万円程度で財政上苦しい、しかし努力することを前提に明年度予算に考えて見たい。無公害畜産については非常な成果をあげており飼料添加物の効果は高く評価する、全部に使用してないので確かな評価はできないが今後全部に普及したい。職員指導は窓口、窓口外の業務をとおす指導監督を強めた

農政課長 高校についてはすでに添加物飼料を使用させ、悪臭が非常に少なくなった。

町の取締りについての考えはないか。

町長 便乗値上げ防止については職員と物価監視員、消費者団体の協力を求めてやっていきたい。県が実施している物価Gメン型についてはケースバイケースでいきたい。

関連質問 五十里議員 流雪清計画に伴い市街地外の河川用水改修計画はどうなるのか。

町長 逐次土地改良区と相談し協力を願って整備していきたい。

地下水汲上の規制 する考えはないか



金田 議員

最近各地区における湧水が目立ち簡易水道の設置で一時しのぎの現象ではないかと思う。この対策として無制限の地下水汲上げに規制する特別の留意が肝要と思うが

町当局の考えを聞きたい。次に町道と町道の交差点に道路標識の設置が非常に少ない。交通安全上これらの対策を聞きたい。

町長 確かに地下水の湧出量は減っている黒四による本流水の減少と農地整理に伴うコンクリート水路等により浸透の減少と生活用水量が非常に大きくなったことが要因で水を大切に効率的利用とより進む時期が来た将来の使用量、水資源の調査など通産、厚生省の専門的な協力を願う。入善町の水資源のイメージングウシないよう慎重に考えていきたい。次に道路標識については危険箇所について既に警察、

過疎的バス路線の存続 に積極的な努力をせよ



福沢 議員

町農道舗装の進展に伴い優先道路の判断の誤り又スピード出し

きによる事故も多くなったので住民と話しの上道路標識等の申請設置は出来ないか。次に地鉄バス路線廃止計画予定線について地域住民の足を守るため、又将来の展望に立って今少し積極的な存続運動に努力しないか聞きたい。

町長 道路標識等については公安委員会等の許可がいり簡単に行けるわけにはいかない。規制によつてかえって問題が起きる場合もあり慎重に検討していきたい。幼児の飛出し等については保育所を通じ監視指導をしたい。

交通安全協会と協議を進めている。又交通道徳の認識を高めていただきたい。



改修される流雪溝

次にバス路線廃止については企業の採算いかんで廃止されるのでバス利用者数によると思ふ平均六・九人であり赤字だと云う自家用車通勤が多いのもその要因とも云える。この過疎バスについては議員全員で協議していきたい。

新品種「はつかおり」 の作付けを奨励せよ



小林 議員

世界的食糧不足の今日、一粒でも多く食糧生産するのが農民の務である。「はつかおり」展示試作事業は先見の明があった。試作の結果のデータ及び町農政が「はつかおり」を稲の作付体形の中でどのように位置づけるか聞きたい。次にスポーツの振興については自ら行ない楽しむスポーツ振興こそ社会教育の大きな一つの柱と思ふが、最近、振興の根本精神に反する面もあり指導策を聞きたい。次にスポーツ災害の補償と制度について教育長の答弁を頼みたい。

だスポーツを振興させたい。

農政課長 「はつかおり」も商品であり消費者サイドに認められるのが問題である。将来米の主力として作付けしたいと考えている。試作データは普及所で取集中でなんとも云えない。普通で反当り一〇・五俵最高一二俵と聞いている。

教育長 大会等での災害が一番心配されます。災害補償金等について具体的に検討したい。又今後スポーツの種目等を再検討し、何時、何処でも楽しめる種目を取り入れたい。

再質問 「はつかおり」の種子について農協との話し合いはどうなっているか。

農政課長 展示試作で「バカナイ病」多発し種子としての使用は困難となった。作付量の三分の一しかないのに注文に届けられない。



大車自動車通行止

町長 「はつかおり」は準奨励品種として本年度四五ヘクタール試作した求評会の称賛を受けるか受けないかで決めたいと思う。次にスポーツ振興については体カづくりと日常生活に溶けこん





浜田議員

食糧事務所廃止に伴う 入善分室の存続と農事 試験場を誘致せよ

交通量の増大に伴う路面の損傷が甚しい安全対策上緊急施行の用意がないか。次に果食糧事務所入善出張所廃止に伴い出張所にかわるべき分室の存続を考えている。次に土地改良と共に黒部平野にふさわしい品種改良が要求されるが技術指導の一環として是非農事試験場を誘致すべきと思うが町長の考えを聞きたい。

関連質問 柏原議員

食糧事務所廃止は町農業行政にあたる打撃は大きい。分室の在置だけは町の総力をもってやるべきである。町長の誠意ある答弁を願いたい。

町長 簡易舗装については年月も経過し機能も失なっている年次計画をたてて逐次舗装の改良をし



田値も機械化

ていきたい。尚地元負担はありませぬ。次に行政管理局の勧告による食糧事務所の統合が廃止の原因であり、米を主産とするのが町は議会と共々分室設置に運動を展開したい。協力お願いします。試験場については県の技術指導方針等もあり、県の考へと別にしてケースバイケースでいきたい。



K5

第九回入善町議会臨時会(十月二十八日)に 上程審議された議案

- 議案第八十三号工事請負契約について(青島分譲宅地造成工事)
- 工事名宅地造成土工事
- 契約金額 金四、五〇〇千円
- 契約の 前田組
- 相手方 代表 前田秀男
- 宅地造成附帯工事
- 契約金額 金二、〇〇〇千円
- 契約の 下沢産業株式会社
- 相手方

議案第八十四号財産の交換について

現在入善警察署敷地入善町山字東大門三八二番地外二五筆実測面積一八四六坪〇六のうち一四〇二坪六二の町有地を富山県に入善警察署跡地入善町入善字西寺田三五八四―三七番地外十一筆実測面積五九七坪二八および建物延二六五坪の県有地並びに県有建物を入善町に等価による交換をなすものである。

諮問第一号人権擁護委員の推せんにつき意見を求めることについて

田原吉郎氏(入善)推薦
以上の三件は何れも原案通り可決されました。(選挙)

議案

- 副議長の選挙について
- 藤田副議長の欠員により投票の結果―投票総数(十八票)内訳
- 上田義信議員(十七票)白票(一票)上田議員が当選されました
- (杉沢、三賀、浜田、嶋田、岡島)の五議員は欠席
- 副議長 上田義信議員(入善)
- (請願、陳情)
- 請願第二十五号ないし請願第三十号及び陳情第五号ないし陳情第六号は閉会中所管の常任委員会審査された結果、委員長の報告通り採択することに決しました。
- 請願第三十一号河川改修方請願は即日審議の結果採択することに決しました。

請願ほか

九件を採択

第八回九月定例会に於いて閉会中の継続審査として常任委員会に付託となった請願六件、陳情二件、第九回臨時会(十月二十八日)に新しく提出された請願一件は採択されました。

○園家山海岸浸蝕対策について

(提出者)入善町下飯野部落代表家田吉松外六名

○県道小摺戸戸崎線に保安柵設置方請願

(提出者)入善町下飯野部落総代塚田吉松外二名

○町道春日荒又線道路舗装に関する請願

(提出者)入善町門山地区区長会長高見仙松外四名

○町道の舗装について請願

(提出者)入善町一宿部落総代柳沢善衛外六名

○町道新設に対する請願

(提出者)入善町六区区长五十里浅松外四名

○入善駅前通りの排水溝改修について陳情

(提出者)入善町十二区区长米沢雅治外九名

○護岸堤副建設の早期着工に關してご支援を乞う陳情

(提出者)入善町春日地区護岸建設期成同盟会会長住家作外五名

○第三十二回富山県更生保護大会に対する助成方請願

(提出者)入善町保護司会長萩原善修

(第九回臨時会提出分)

○河川改修方請願

(提出者)入善町八幡第一区区长生田朝祝外六名

常任委員長報告

・文教厚生常任委員会

十月十九日第八回定例議会に於て当委員会に付託されました、請願第二十七号「第二十二回富山県更正保護大会に対する助成方請願」について充分審査致しましたところ、今日の社会環境による更生事業の重大さに鑑み、明年七月当町に於て富山県更正保護大会が開催されますことは誠に意義深いものがあります。県下の保護司の方々が一堂に会され明るい社会づくりの事業を推進されますことを念願致しますとともに請願の主旨を理解されまして暖かい措置を期待し採択すべきものと決しました。

・産業建設常任委員会

十月二十二日当委員会に付託された「請願第二十五号ほか五件陳情第五号ほか一件」について慎重審議致しましたところ全案件は総て地域住民の声であり町当局に於ては請願陳情の主旨を理解され早急に実状を調査し早期着工すべきものの実態等を考慮しながら計画の見直しなどを請願者に知らせるなどの行政配慮を含めて町当局の誠意ある努力を期待し全案件を採択すべきものと決定いたしました。

北海道みたまま

上島 藤吉

雲上を飛ぶも又快適なり、千変万化光と雲と空が絶妙なコントラストをかもし出す。日本列島が緑である事実を眼下に見おろす。私は自然破壊を奨励する意図はないただ見たま、感じたま、を繰るべくペンを執る。

札幌市周辺は

異国風景

千歳空港に着陸、愈々北海道一周の旅がはじまる。千歳を後に一路支笏湖へと向った。何の姿哲もない雑木林が延々と続く中をバスは走る。支笏湖は日本最北の不凍結湖で最深部三百六十三米という。三百六十五日に二つ足らぬと記憶する。再びバスは雑木林の中を札幌へ。雑木林を抜けると目の前に広大な平野が広がる。赤、青、白と色とりどりの屋根が連なり四角な煙突がある家が並ぶ、瓦屋根はほとんど見当らない、異国情緒豊かな風景の出現である。札幌の時計台も今は整然とした高層ビル

の谷間に昔日の風格を保ち続けている姿は一抹の哀れさを感じさせる。私達は札幌ビール工場に案内された。近代麦酒工場としての粋

高倉



を極めたと誇るだけあって立派なものだ。サービスクールが差し出す冷いビールを口にうまいうまいの連発(別に市販物と変っていないのにと飲めない私は勘ぐる。)

上川町

延々と続く真直ぐな舗装道路はすばらしい。ジュエタンを敷き詰めたようなジャガイモ畑、玉ネギ畑の中を真直ぐに走る北海道の道路は大団を想わせる。車はやがて石狩川を右に左にと見ながら上流へと進む。ガイドの声を傾け驚き残念に思った。こゝにも自然破壊があった。汚濁がすごい、蛙鱒がさかのぼったのも今は昔の事、石狩川の汚れは私の責任ではありません」というガイドの言葉もうなずける。上流に製紙工場があるのだ。さて次は第一番目の訪問町上川町である。上川町は人口一万一千人、戸数四千戸、内専業農家は三百戸という山間の小さな町だ、といつても比喩は北海道、面積にして神奈川県とはほぼ同じだという事だ。我々の宿の向いに町営のホテルがある。その支配人は元上川町の総務課長である。上川町の当初予算(一般会計)は二十億円(入善町二十三億円)で自主財源の強さを物語っている。水力発電所五ヶ所と温泉街から入る固定資産税等が町収入の六十パーセントを占めている。小学校九、中学校一、町立病院一つの施設がある。通学距離では遠い所で二十キロ余りもあり、勿論スクールバスがある。町立病院は赤字だが町民

ジャガイモ畑



のために止むを得ないと強調される。町道、農道の整備についての私達の間に、とてもじゃない、町道は疎か農道などは」という答えが返ってきた。というのは北海道の冬は長くそして凍る。(北海道の言葉でしはれるという)舗装するのに二メートルも掘り起しそこから敷砂利を詰め基礎を造り舗装しなければならぬ故、一メートル当り十五万円及至二十万円掛るという事だった。先程北海道の道路はすばらしいと前述したが幹線道路はたしかにすばらしい、がその外は砂利道である。元総務課長藤井氏の説明に対し私達は心から謝意を表しお別れする。

——ワインの町

池田町

人口一万三千四百五十五人、世帯数三千五百四、当初予算(四十九年度一般会計予算)十六億八千四百万円町である。この町は自治体

食肉センター



いる躍進途上の町である。農業所得の向上を図るためにいろいろ苦心の結果目をつけたのが町に自生する山ブドウである。この山ブドウはソビエトのアムール川流域に栽培される醸造用の品種アムレンシス系である。日本にはないと

れていた山ブドウの発見である。池田町はこれに力を入れ外国品種との交配による開発に成功し苗木増産体制に入ったのである。こゝで見逃してはならないのは町がこの開発品種の栽培には生産費補償制度を採用している事だ。これは当をえた施策である。私達の町の源助大根の価格補償とは雲泥の差がある。発想の根本から違うのだから当然である。十アール当り三万円の補償をしておりこれはワイン会計より出す事になっていながら今のところ補償する必要もなく順調に進んでいるとの事だ。池田町立ブドウ酒ブドウ研究所を設置、ワイン醸造に本腰を入れていゝ。四十一年から市販を始め、ワイン会計の利益金を内部保留のほか道路舗装、PTA会費全額負担、学校給食費の補助等町民に還元している。それからおもしろいのはミートバンク(食肉銀行)と町営レストランである。ワインと肉を組合せたところも又おもしろい。ミートバンク、町営レストランとこれは農家の食生活改善のために開設したそうである。農家の老廃牛、不妊牛、牝牛などを町営食肉センターでと殺して預かる。預かる場合に預肉券を渡し肉のたべたい時には預肉券と引き換えに肉を払い出す。預かった肉には年七分の計算で利息分としてハンバ



ワイン工場

ーク、メンチボール等の加工品を付けて預肉者に還元している。更に預肉者の主婦達には料理講習会等も行っている。と殺料、保管料は無料である。町内蔵は町が貰い受け学校給食やレストランに運んでいる。その他離農者対策や農業ヘルパー制度等の目新しい施策が積極的になされている。町営バスもやっている。国鉄バス廃止で町が赤字を承知で町営に踏み切ったそうである。「町が俺達を見捨てない」との町民の強い信頼感に応えるためだろう。これら一連の施策に見られるのは町政執行者の限り無い町民への愛情、地域住民に奉仕する崇高な公僕心こそ其の地方自治行政であろう。(以下略)

議会用語

陳情

陳情とは、一般に、官公署に對して一定の事項に関する利害關係者が、その実情を訴えて、相当な措置を要望する事実上の行為をいふのである。實質的には請願と同様の内容を有しながら、法律で定められた請願書の要件である議員の紹介を欠いているものである。陳情は、憲法および地方自治法に規定する請願ではないから、議会はこれを当然受理すべき義務はないのである。しかしながら、地方公共団体に於いては、會議規則により陳情書又はこれに類するものでその内容が請願に適合するものは請願書の例により処理することとしているのが通例である。この場合において、その内容が請願に適合するかどうかは議長が一次的に判断をすることから、請願に適合しないと認めるときは受理を拒むことが出来る。この点が請願との主要な相違点である。請願と陳情との間には、もともと法的にその形式や要件が区別されているのであって、必ずしも同一の取扱いとす義務を有するものではないのであるが、住民の要望を出来るだけ議会に反映させるため、特別

編後記



議会だより第三号をお届けすることになりました。読みやすく、親しめる「議会だより」にいたしたいものと編集スタッフ一同努力しております。みなさんの声、読後のご感想、ご意見がございましたら、ぜひお寄せください。